

I 災害に強い上下水道の確立

1 (水道)災害対策用貯水施設

施設名	貯水量 (m3)	緊急遮断弁		備考	
		出側	入側		
1 一本木水源地(調整池)	350	○			
2 八景水谷水源地(調整池)	500	○			
3 立田山配水池	12,600	○			
4 健軍配水場(配水池)	12,000	○	○	備品倉庫あり	
5 高遊原配水池	11,000	○			
6 小江山配水池	1,400	○			
7 池上水源地(調整池)	500	○			
8 城山水源地(調整池)	500	○			
9 川尻水源地(配水池)	4,000		○		
10 岩倉山配水池	3,200	○			
11 改寄配水場(配水池)	1,250	○			
12 西梶尾配水場(配水池)	500	○			
13 貢水源地(調整池)	250	○			
14 和泉配水池	4,400	○			
15 徳王配水池	2,600	○			
16 川床配水池	250	○			
17 天明配水場(配水池)	1,300	○		電動弁切替方式	
18 上松尾第2加圧所(調整池)	250	○			
19 平山配水池	400	○			
20 戸島配水場(調整池)	2,000			地震計により送水ポンプを停止させ対応	
21 岳加圧所	150			地震計により送水ポンプを停止させ対応	
22 白浜配水池	150	○			
23 島崎配水池	800	○			
平成24年度	23 箇所	60,350	-	-	-
平成23年度	23 箇所	60,350	-	-	-
平成22年度	23 箇所	60,350	-	-	-
平成21年度	22 箇所	59,550	-	-	-
平成20年度	22 箇所	59,550	-	-	-

2 (水道)非常用発電・予備電力施設

施設名	発電機				2回線受電		
	出力 PS	KVA	容量 KW	台数	種別	常用	予備
1 麻生田(送)	950	750	600	1			
2 麻生田 3	300	250	200	1			
3 麻生田 4	300	250	200	1			
4 一本木	610	500	400	1			
5 八景水谷	680	625	500	1			
6 健軍	3,620	3,000	2,400	1	特高	広島神水線1号線	広島神水線2号線
7 秋田					特高	南熊本川尻線2号線	南熊本川尻線1号線
8 沼山津	3,300	2,500	2,000	1			
9 託麻					予乙	弓削SS-戸島線	益城SS-北線
10 託麻 4	405	300	240	1			
11 託麻 6	242	200	160	1			
12 戸島	1,490	1,250	1,000	1	高圧	九州電力線	東部環境工場線
13 川尻	540	450	360	1			
14 池上					予乙	春日SS-池上線	日吉SS-田崎線
15 城山	260	200	160	1			
16 改寄	365	300	240	1			
17 改寄2	63	50	40	1			
18 貢	320	250	200	1			
19 岳	136	125	100	1			
20 天明	256	200	160	1			
21 上松尾1加圧	240	200	160	1			
22 上松尾2加圧	240	200	160	1			
23 舞原水源地	107	90	72	1			
24 舞原配水場	107	90	72	1			
25 一木配水場・第1水源地		200	160	1			
26 一木第3水源地		65	52	1			
27 山本第1水源地		40	32	1			
28 山本第2水源地		150	120	1			
29 山本配水場		150	120	1			
30 木留送水場・第1水源地		150	120	1			
31 富応加圧所		65	52	1			

*庄口水源地は健軍水源地発電機により運用可能。

3 (水道)耐震性貯水槽

施設名		貯水量 (m3)
1	楠中央公園	100
2	錦ヶ丘公園	100
3	渡鹿公園	100
4	秋津中央公園	100
5	蓮台寺公園	100
6	八王寺中央公園	100
7	白川公園	100
8	平成中央公園	100
9	池上中央公園	60
	平成24年度	9 箇所 860
	平成23年度	9 箇所 860
	平成22年度	9 箇所 860
	平成21年度	9 箇所 860
	平成20年度	9 箇所 860

※上下水道局では、維持管理を実施している。

4 (水道)応急給水設備

平成24年度					平成23年度	平成22年度
名称	形状	数量	計	合計		
給水タンク	アルミタンク容量1,000ℓ	17個	17,000ℓ	298,200ℓ	17,000ℓ	17,000ℓ
	折りたたみ式タンク容量1,000ℓ	2個	2,000ℓ			
	ポリタンク容量20ℓ	335個	6,700ℓ		10,000ℓ	10,000ℓ
給水車	積載容量2,000ℓ	4台	9,700ℓ		9,700ℓ	8,000ℓ
	積載容量1,700ℓ	1台				
非常用水袋	容量6ℓ	43,800袋	262,800ℓ		263,520ℓ	229,800ℓ
応急給水装置	A型 SUS製 40A 給水栓 4個付×2基	4組	48セット		4組	4組
	B型 SS製 40A 給水栓 2個付×3基	4組			4組	4組
	C型 SUS製 65A 給水栓 4個付×2基	9組			9組	9組
	C型 SUS製 66A 給水栓 3個付×2基	11組			11組	11組
	D型 VP製 20A 給水栓 2個付	2個			2個	2個
	T型 消火栓直結型 給水栓 2個付	18本			18本	18本
緊急作業車	1トン積みトラック	3台	3台		3台	3台

5 (水道)給水拠点密度

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
①給水拠点	箇所	32	32	32	31	31
②給水区域面積	km2	323.36	323.36	279.04	※2 234.70	※1 217.95
③給水拠点密度(=①/②)	箇所/100km2	9.9	9.9	11.5	13.2	14.2

※1 旧市内のみ

※2 旧市内+富合町(城南町・植木町は除く)



応急給水塔



折りたたみ式タンク

6 (水道)配水池耐震施設率

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
①耐震化容量	m3	192,598	192,598	174,598	173,678	173,428
②総容量	m3	208,171	208,419	208,684	209,549	209,326
③配水池耐震施設率(=①/②)	%	92.5	92.4	83.7	82.9	82.9

※富合町、城南町、植木町を除く

7 (水道)浄水施設耐震率

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
①耐震化能力	m3	284,900	284,900	284,900	277,600	272,500
②総能力	m3	301,300	301,300	301,300	304,525	294,000
③浄水施設耐震率(=①/②)	%	94.6	94.6	94.6	91.2	92.7

※富合町、城南町、植木町を除く

8 (水道)ポンプ所耐震施設率

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
①耐震化されたポンプ所能力	m3	542,300	542,300	527,700	410,500	784,933
②全ポンプ所能力	m3	694,500	694,500	694,500	643,900	1,193,368
③ポンプ所耐震施設率(=①/②)	%	78.1	78.1	76.0	63.8	65.8

※富合町、城南町、植木町を除く

9 (水道)耐震適合性のある基幹管路の割合

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
①耐震性能を有する基幹管路	m	189,230	186,562	185,317	183,001	179,059
②基幹管路延長	m	277,313	275,503	274,851	272,858	269,819
③耐震適合性のある基幹管路の割合(=①/②)	%	68.2	67.7	67.4	67.1	66.4

※富合町、城南町、植木町を除く

10 (水道)水道管路の耐震化率

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
①耐震管延長	m	472,143	437,369	406,375	378,037	325,960
②管路延長	m	2,841,506	2,841,413	2,804,776	2,872,915	2,782,653
③水道管路の耐震化率(=①/②)	%	16.6	15.4	14.5	13.2	11.7

※富合町、城南町、植木町を除く

11 (下水道)下水道ポンプ場及び浄化センターの耐震化率

	単位	平成24年度	平成23年度
①耐震化済施設数	箇所	33	4
②施設数	箇所	190	42
③耐震化率(=①/②)	%	17.4	9.5

12 (下水道)下水道管きよの耐震化率

	単位	平成24年度	平成23年度
①耐震管延長	km	752.8	705.9
②管路延長	km	2,468	2,426.5
③下水道管きよの耐震化率(=①/②)	%	30.5	29.1

13 (下水道)重点6地区の対策率

	単位	平成24年度	平成23年度
①重点6地区の改善排水面積	ha	9.5	9.5
②重点6地区の総排水面積	ha	1,129.5	1,129.5
③重点6地区の対策率(=①/②)	%	0.8	0.8

(参考)重点6地区一覧

排水区名	主な地名
加勢川第6排水区	若葉・秋津新町・東町
井芹川第9排水区	花園3丁目
井芹川第8・第10排水区	上熊本
加勢川第5排水区	出水・国府
坪井川第3排水区	高橋・城山大塘
鶯川第2排水区	桜木・花立



加勢川第6排水区雨水幹線シールド工事

II 「地下水都市くまもと」の水循環・水循環の保全

1 白川中流域水田を活用した地下水かん養事業

水道水源である地下水を保全するために、また、熊本市地下水保全条例や熊本県地下水保全条例上の地下水大規模採取者としての責務を果たすため、平成16年5月17日に熊本市長と締結した「白川中流域水田を活用した地下水かん養事業に関する協定書」に基づき、熊本市長が実施する白川中流域水田を活用した地下水かん養事業に参画し、事業に必要な経費の一部を負担している。

年度	湛水のべ面積 (ha・月)	推定 かん養量 (万m ³)	うち 水道事業 会計寄与	助成金 (千円)	水田湛水 助成金 (千円)	事務 助成金 (千円)	うち水道事業 会計負担金 (千円)
				※一般会計			
平成24年度	419	1,258	566.1	46,764	42,054	4,710	21,043
平成23年度	559	1,678	671.3	54,695	49,595	5,100	21,878
平成22年度	476	1,428	571.2	47,481	42,771	4,710	18,992
平成21年度	486	1,458	583.2	47,615	42,905	4,710	19,045
平成20年度	472	1,416	566.4	46,358	41,648	4,710	16,659
平成19年度	402	1,206	482.4	40,840	36,130	4,710	14,000
平成18年度	326	978	391.2	33,941	29,671	4,270	12,000
平成17年度	251	753	301.2	29,228	24,958	4,270	10,000
平成16年度	255	765	306.0	27,050	22,780	4,270	10,000

2 水道水をおいしいと感じる市民の割合

(%)

		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
水道水をおいしいと感じる市民の割合		81.9	81.4	79.3	82.8	80.7
年代別	20～24歳	82.8	86.9	76.7		
	25～29歳	75.7	77.1	71.5	79.0	68.9
	30～34歳	78.0	70.6	64.4		
	35～39歳	75.6	69.3	69.4	75.1	71.2
	40～44歳	80.1	82.2	76.1		
	45～49歳	77.4	83.3	77.5	79.9	76.6
	50～54歳	79.8	80.5	79.5		
	55～59歳	82.7	86.7	82.4	82.4	83.3
	60～64歳	83.1	83.9	83.0	85.2	87.2
	65～69歳	82.6	85.9	83.3		
	70～74歳	87.0	85.8	89.4	90.9	87.9
	75～79歳	87.0	88.6	89.0		
80歳以上	91.2	86.8	84.3	89.5	87.1	
家族構成別	独り住まい	80.7	79.4	78.9	76.6	75.6
	夫婦二人住まい	83.6	84.8	82.0	87.2	84.9
	夫婦に子供	81.7	80.5	77.9	81.1	79.3
	三世代同居	81.2	84.3	81.9	85.8	82.7
	その他	81.8	84.0	77.7	82.1	79.0
居住年数別	5年未満	66.1	63.7	59.5	62.8	64.7
	5～10年未満	70.1	72.7	67.6	74.6	65.6
	10～20年未満	78.0	78.2	75.2	78.9	75.0
	20～30年未満	82.7	83.3	79.5	83.1	80.9
	30年以上	86.3	86.7	85.5	87.2	85.6
地区別	北区(H21までは北部地区)	80.1	80.4	76.2	83.6	83.5
	西区(H21までは西部地区)	84.3	85.9	81.9	85.4	81.0
	中央区(H21までは中央地区)	83.4	84.4	81.6	83.2	78.5
	東区(H21までは東部地区)	85.7	83.6	81.5	84.0	81.7
	南区(H21までは南部地区)	74.6	76.9	74.3	78.5	79.2

※出典「熊本市第6次総合計画」市民アンケートの結果からの抜粋。

※平成21年度から富合町を、平成22年度から城南町・植木町を含む。地区別の「区」と「地区」は完全には一致しない。

3 直結給水率

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
①直結給水件数	件	241,274	237,124	233,799	231,556	224,268
②給水件数	件	318,719	315,231	312,288	304,158	303,371
直結給水率(=①/②)	%	75.7	75.2	74.9	76.1	73.9

※平成20年度からは富合町を含む、平成22年度からは、城南町・植木町を含む

4 下水処理水の再利用

農業用水としての処理水の再利用

熊本市の南西部、白川と坪井川の間に挟まれた石塘堰樋土地改良区(対象水田面積225ha)では河川流量の減少や河川改修等による取水性の悪化から度々干ばつ被害に悩まされ、慢性的な水不足が生じていた。そこで安定した農業用水確保策として処理水再利用の要請があり、昭和51年度から処理場内の試験田において6年間、さらに現地で3年間の実証試験を経て昭和60年から中部浄化センターの処理水を農業用水として供給している。

また、平成14年の西部浄化センターの運転開始に伴い、新世代下水道支援事業により、平成17年度に地下水の代替水源として処理水を農業用水に利用するための供給施設が完成した。以降、試験的な供給を続けながら、平成18年8月に地元3土地改良区と協定書を締結し、安定的・効率的な供給・利用を目指している。



浄化センターでの処理水の再利用

浄化センター内での使用水量を抑えるため、砂ろ過した後、場内の様々な場所において処理水の再利用を進めている。今後、よりいっそうの再利用に努めていく。

(m3/年)

年度	農業用水	浄化センター	浄化センター					合計
			中部	東部	南部	西部	城南町	
平成24年度	5,838,277	2,400,913	1,248,402	933,052	85,654	125,542	8,263	8,239,190
平成23年度	10,794,501	2,960,759	1,752,131	982,122	86,358	129,119	11,029	13,755,260
平成22年度	11,241,050	4,088,025	2,413,535	1,433,219	105,132	121,595	14,544	15,329,075
平成21年度	8,803,973	3,993,909	2,022,901	1,721,666	121,482	111,903	15,957	12,797,882
平成20年度	11,861,587	5,635,681	2,159,647	3,171,945	174,554	129,535	-	17,497,268
平成19年度	9,506,876	7,429,611	1,809,411	5,252,213	252,956	115,031	-	16,936,487
平成18年度	7,491,442	7,245,635	1,775,621	5,056,164	309,542	104,308	-	14,737,077
平成17年度	7,475,730	7,337,809	1,764,195	5,042,488	410,205	120,921	-	14,813,539
平成16年度	7,651,902	6,574,233	1,735,165	4,359,865	354,672	124,531	-	14,226,135
平成15年度	11,071,443	6,444,634	1,766,103	4,206,716	336,063	135,752	-	17,516,077
平成14年度	9,276,039	7,513,164	2,186,447	4,867,225	373,365	86,127	-	16,789,203
平成13年度	8,527,540	6,773,188	2,189,305	4,232,568	351,315	-	-	15,300,728

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
処理水利用量	m3	8,239,190	13,755,260	15,329,075	12,797,882	17,497,268
総処理水量	m3	78,127,112	79,968,322	77,673,525	73,825,607	78,324,961
再生水の使用率	%	10.55	17.2	19.7	17.3	22.3

※再生水の使用率=処理水利用量/総処理水量

※総処理水量は、市浄化センターの処理水量

5 汚水処理率

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
①行政区域内人口(住民基本台帳)	人	731,815	725,005	724,773	723,707	672,422
②下水道処理人口	人	632,110	624,882	617,586	599,487	574,562
③農業集落排水施設等整備済人口	人	4,450	4,471	4,397	4,445	0
④合併処理浄化槽設置済人口	人	46,843	46,585	45,244	44,772	23,483
⑤コミュニティプラント設置済人口	人	0	0	0	0	0
⑥汚水処理人口(=②+③+④+⑤)	人	683,403	675,938	667,227	648,704	598,045
⑦汚水処理率(=⑥/①)	%	93.4	93.2	92.1	89.6	88.9

※住民基本台帳人口により算出(平成23年度までは、外国人登録数は含まない)

6 合流式下水道改善率

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
①合流式下水道改善面積	ha	169.5	169.5	51.9
a)うち緊急改善面積	ha	169.5	—	—
②合流式下水道面積	ha	862.0	862.0	862.0
b)うち緊急改善予定面積※	ha	573.3	—	—
③合流式下水道改善率(=①/②)	%	19.7	19.7	6.0
c)合流式下水道緊急改善率(=a/b)	%	29.6	—	—

※緊急改善を行うために、平成21年6月に国から同意を得た面積

7 高度処理人口普及率

	単位	平成24年度	平成23年度
①高度処理を実施している人口	人	0	0
②行政区域内人口	人	731,815	725,005
③高度処理人口普及率(=①/②)	%	0.0	0.0

8 甦る水100選（甦れ江津湖クリーン作戦）

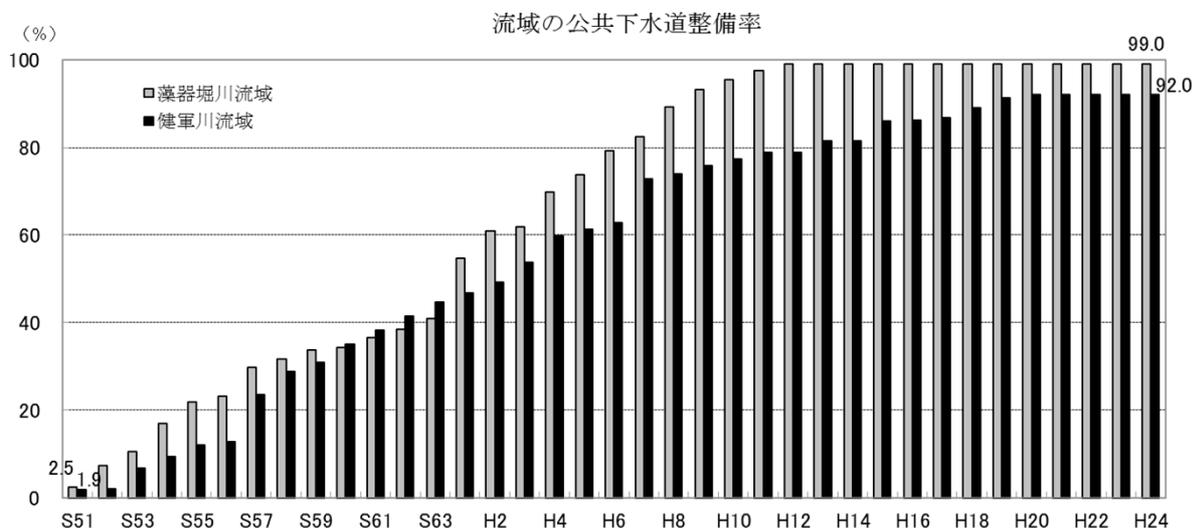
江津湖は、熊本市の東南部に位置する湧水池で、市民の憩いの場として古くから愛されており、上江津湖と下江津湖の2つの部分からなる湖である。また、水や緑の景観を活かし、親水機能をあわせ持った公園である。江津湖の主な流入河川として藻器堀川、健軍川がある。この2つの都市河川の流域は、昭和28年白川大洪水以降急速に宅地開発が行われた地域であり、宅地開発と下水道整備の不均衡のため一時的にその水質汚濁が問題となった。

そこで、市は、官民一体となつての「江津湖クリーン作戦」を展開した。下水道では、江津湖流域の整備を重点的に行うため、モデル事業の採択を受け、昭和61年から平成2年までに500ha以上の整備を短期間で行った。その結果、着実に水質の浄化が進み、両河川の江津湖流入の最下流点において良好な水質に改善されている。

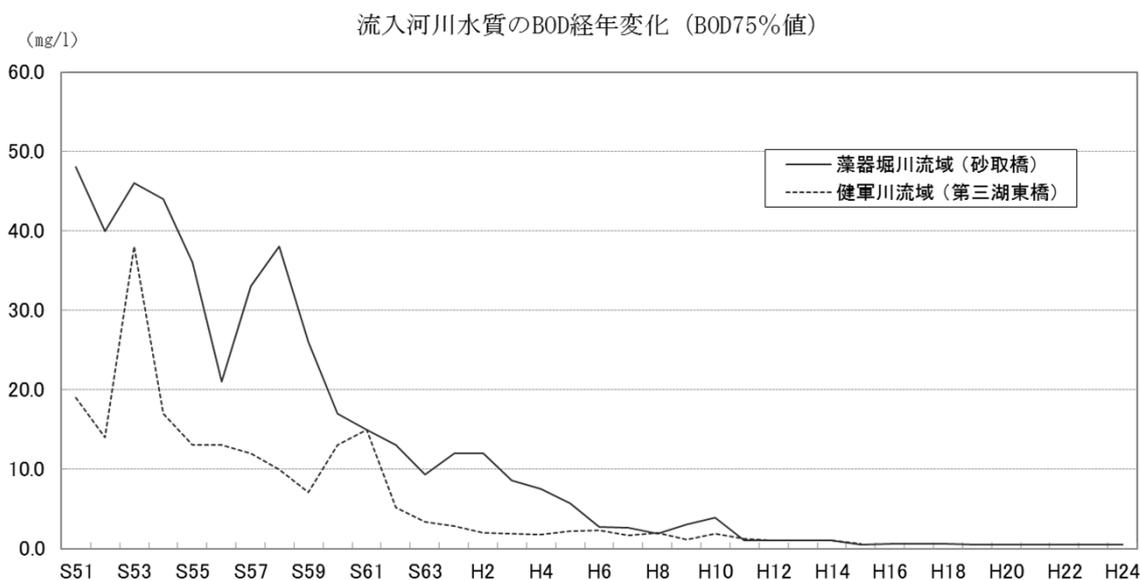
こうした取組みが評価され、平成12年9月に建設大臣賞（当時）「甦る水100選」に選ばれ受賞した。



受賞記念モニュメント



* 流域面積比によって計算された。平成7年度に流域の見直しが行われ、藻器堀川流域の一部が健軍川流域となった。



Ⅲ 環境負荷低減策の推進

1 エネルギーの使用に伴い発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

(t-CO₂)

工場等に係る事業の名称	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
上下水道局全体	43,945	33,452	32,606	33,008
上水道事業	23,818	17,894	17,202	17,146
下水道事業(下水道処理施設維持管理事業)	19,473	15,130	14,935	15,290
管理事業を行う本社等	652	427	464	566

2 配水量1m³あたり二酸化炭素排出量

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
①水道事業に係る二酸化炭素排出量	t-CO ₂	23,818	17,894	17,202	17,146
②配水量	m ³	79,959,052	80,100,709	80,445,658	79,118,385
③配水量1m ³ あたり二酸化炭素排出量	g-CO ₂ /m ³	298	223	214	217

※単位に注意 ①/②×10⁶

3 処理人口1人あたり温室効果ガス排出量

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
①下水道事業に係る温室効果ガス排出量	t-CO ₂	26,710	22,797	22,414	22,667
②処理区域内人口	人	633,038	628,728	620,130	602,566
③処理人口1人あたり温室効果ガス排出量	kg-CO ₂ /人	42.2	36.3	36.1	37.6
④総処理水量(市営浄化センターのみ)	m ³	78,127,112	79,968,322	77,673,525	73,825,607
⑤処理水量1m ³ あたり温室効果ガス排出量	g-CO ₂ /m ³	342	285	289	307

※単位に注意 ③=①/②×10³ ⑤=①/④×10⁶

※エネルギー使用に伴う排出量だけでなく、汚泥の焼却等により生じる排出量も含む。

4 水道施設における自然エネルギー発電量

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
水道施設における自然エネルギー発電量	kwh	69,877	68,090	29,313
設置箇所数	箇所	3	3	3

※設置箇所は、(太陽光発電)上下水道局別館・八景水谷送水場・亀井送水場



上下水道局別館



八景水谷送水場



亀井送水場



熊本市水の科学館(平成25年4月稼動)

5 汚泥の有効利用

	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
①汚泥発生量	t	30,417	29,864	29,219	28,347	29,610
②セメント化	t	4,943	4,492	4,516	4,860	4,448
③コンポスト化(堆肥)	t	4,724	4,841	4,507	2,969	-
④固形燃料化 ()内の数値は試運転	t	(1,843)	-	-	-	-
⑤汚泥の有効利用量(=②+③+④)	t	9,667	9,333	9,023	7,829	4,448
汚泥の有効利用率(=⑤/①)	%	31.8	31.3	30.9	27.6	15.0

※平成20年8月よりセメント化を、平成21年4月からコンポスト化を実施。

※温室効果ガス削減のため、汚泥固形燃料化施設を南部浄化センター内に建設。

(平成24年度の固形燃料化は試運転のため、有効利用に含めない。)

※平成25年4月から南部浄化センターにおいて、汚泥固形燃料化施設(50t/日)の運転を開始し、セメント化、コンポスト化と合わせて有効利用率(汚泥リサイクル率)100%を達成する。



固形燃料化施設

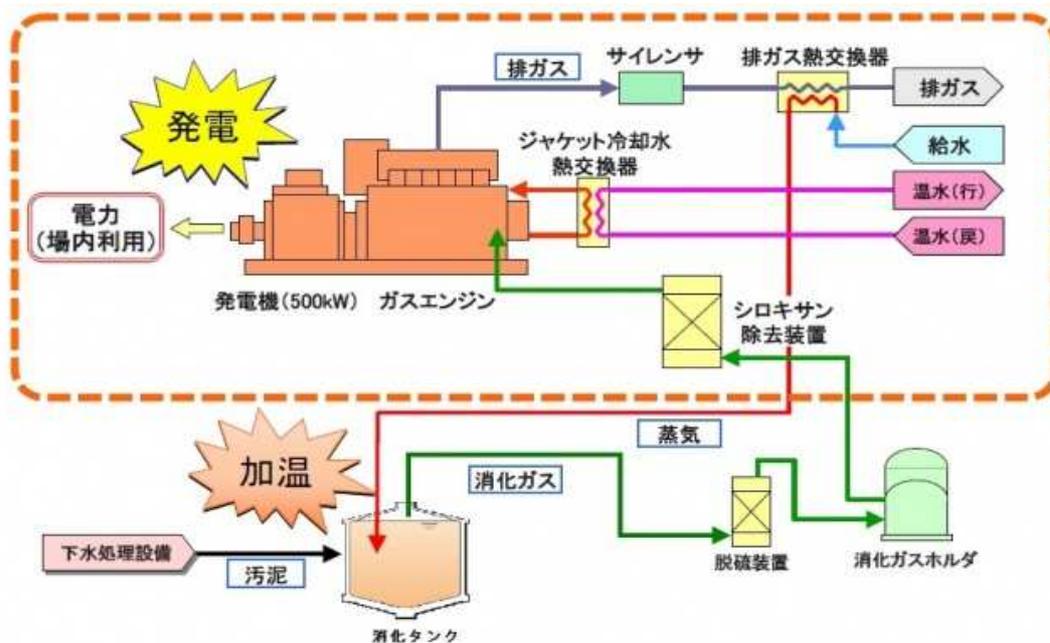


燃料化物(炭化固形物)

6 下水汚泥消化ガス発電

消化ガスとは、下水処理で発生した汚泥が消化槽の中で微生物により分解されるときに発生するメタンとCO₂を含んだ可燃性ガスのことです。

熊本市の浄化センターでは、消化ガスを消化タンクの加温や給湯などに使用していますが、処理場経費のさらなる削減と温室効果ガス排出削減を目指し、平成25年4月から、中部浄化センター内において消化ガスを利用した発電を開始しました。



消化ガス発電のしくみ

Ⅳ お客さまを真ん中にした事業運営

1 上下水道施設見学者数

(単位:人)

	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
水道施設の見学者数	3,478	3,382	3,569	3,325
下水道施設の見学者数	1,670	904	462	706
水の科学館来館者数	126,888	78,293	97,192	95,446
合計	132,036	82,579	101,223	99,477

※水道施設見学者数:水道の普及啓発に係る施設見学等

※下水道施設見学者数:下水道の普及啓発に係る施設見学等

※水の科学館来館者数:水の科学館への来館者数(平成23年度はリニューアル工事に伴う休館期間あり)

2 出前講座等参加者数

(単位:人)

	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
水道学習教室	1,398	1,440	680	517
下水道教室	1,199	2,649	2,484	2,341
合計	2,597	4,089	3,164	2,858

3 ホームページ閲覧数

	単位	平成24年度
ホームページ閲覧者数	人	67,491
ホームページ閲覧数	件	462,498

※閲覧者数は、各月の閲覧者数の合計



4 アンケート回答者数

(単位:人、%)

	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
水道の普及啓発に伴うアンケート(人)	1,983	1,667	1,165	1,441
下水道の普及啓発に伴うアンケート(人)	74	30	59	62
水の科学館でのアンケート(人)	269	244	520	517
上下水道に関するアンケート(人)	1,132	795	486	-
上下水道局の経営が効率的かつ効果的に運営されていると感じる市民の割合(%)※	21.8	-	-	-
上下水道局の情報提供に満足している市民の割合(%)※	36.6	-	-	-
上下水道局を信頼できると感じている市民の割合(%)※	55.7	-	-	-
合計(人)	3,458	2,736	2,230	2,020

※各設問について、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した人の合計を示す

5 パンフレット等の作成状況

(単位:部)

	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
上下水道局だより	916,500	917,000	916,500	1,188,000	1,182,000
上下水道のしおり※H22までは水道のしおり	3,000	3,000	3,000	4,000	
熊本市水の科学館		30,000			10,000
熊本市の水道	1,300		1,000	3,000	3,000
わたしたちの水道		5,000	5,000		10,000
わたしたちの水道(八景水谷水源地)			2,000		
健軍水源地の概要		2,000		2,000	500
熊本市の下水道	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
下水道の役割としくみ※H22までは下水道のしおり	2,000	2,000	4,000	800	600
くらしと下水道	9,500	9,500	9,500	9,500	9,000
つないで、使って! 下水道	2,000	2,000			
熊本の水道水		2,000			